

講師

永遠瑠 マリールイズ

NPO-TER (Think about Education in Rwanda)

講演

ルワンダの悲劇から学んだこと  
—命の尊さ、教育と平和の大切さ—

1965年10月 ルワンダ人の父親の赴任先であるコンゴ民主共和国に生まれる。1985年9月 技術高等学校に洋裁の教師として赴任。1986年9月 結婚を機にキガリ市の技術高等専門学校に洋裁の教師として転任。1993年5月 青年海外協力隊カウンターパートナーとして福島文化学園にて洋裁の研修を受ける。1994年2月 ルワンダへ帰国。同年4月7日内戦ほっ発。子ども3人を連れ、隣国のコンゴ民主共和国の難民キャンプに逃れる。難民キャンプで偶然出会ったアムダの日本人医師の通訳となる。1994年12月 研修生時代の友人らの尽力で家族そろって再来日。2000年10月「ルワンダの教育を考える会」を立ち上げ、キガリ市内に学校を設立。命の尊さ、教育の大切さを訴える活動で全国を駆け回っている。現在も継続して教室の拡大、図書館や給食室も設置している。2011年3月 在住する福島において東日本大震災で被災、原発事故を経験。以後、避難所で、のちに仮設住宅でのボランティア活動も行っている。2012年5月 日本国籍取得。2014年8月 日本とルワンダとの相互理解の促進活動が認められ、外務大臣表彰を受ける。2018年7月 大阪近畿大学総合社会学部外部講師に就任し、毎年講義を行っている。2019年1月 龍谷大学社会福祉学科客員教授に就任し、毎年特別講義を行っている。2020年11月 日本財団社会貢献者団体として20年の活動への表彰を受ける。

日時

2023年6月23日(金)

18:30~20:00時

場所

高知県立大学・永国寺キャンパス A101教室

問い合わせ 088-821-7175 / japanstudies@el.u-kochi.ac.jp

参加無料・申込不要。駐車場はございません。公共交通機関をご利用くださいませ